

## 中間階免震に適したコンパクトな免震レトロフィット工法

PC鋼材のプレストレスを利用した免震レトロフィット工法であり、仮受けのための躯体補強および仮設スペースをコンパクトにできることが大きな特徴である。これにより、改修後の免震層に十分な建築空間を確保することができるため、中間階における免震レトロフィット工事に適している。

### 【特徴】

PC鋼材のプレストレスによりブラケットをRC補強柱に圧着し、圧着面に発生する摩擦力を利用して柱軸力をブラケットで仮受けする工法

柱を貫通するPC鋼材を1方向に配置し、鋼製ブラケットや油圧ジャッキを直交する2面に集約

ねじ式定着具を用いたPC鋼より線を使用し、大きな導入力とセットロスがない確実なプレストレスを期待できるうえ、PC鋼棒と同様に撤去・再使用が可能

仮受けのための躯体補強および仮設スペースをコンパクトにできるため、ジャッキアップ用のキャピタルなどが痕跡として残らないすっきりとしたプロポーシオンの柱を実現



建物全景

### 【性能・適用条件】

免震レトロフィットにより地震応答の低減が図られるため、地震に対する建物の機能維持が可能

導入プレストレスの設定により、建物重量に応じた支持性能の確保が可能

施工範囲を限定することができるため、建物を使いながらの耐震補強工事への適用が可能

免震レトロフィット工事に併せて、全面リニューアルや基幹設備更新等による施設の老朽化への対応が可能

RC・PC・鋼構造物の種別を問わず、幅広い構造系に適用が可能

特許出願中 2001-359597



仮受け施工中の免震層

### 【建物概要】

所在地: 山梨県甲府市丸の内 1-6-1

主用途: 庁舎

建築面積: 1,174.20 m<sup>2</sup>

延床面積: 10,035.45 m<sup>2</sup>

階数: 地上 8 階 / 地下 1 階 / 塔屋 3 階

構造種別: 鉄筋コンクリート造

標準工期: -

標準工費: -

採用補強法: 免震レトロフィット工法、RC壁増設、柱鋼板巻



改修後の免震層(地下1階食堂)